

第44回通常総会を開催

東京都自動車会議所

平成30年度事業計画・予算を承認

会長空席で西村会長代行が統投



通常総会で挨拶する西村会長代行

東

京都自動車会議所は6月27日、東京・新宿区の京王プラザホテルで第69回理事会および第44回通常総会を開催し、平成29年度事業実績・決算報告と同30年度事業計画・予算案を審議、いずれも原案通り承認された。同時に、任期満了に伴う役員人事も審議し、理事21名と監事2名を選任。続いて開催した第70回理事会で、新しい会長が決まるまでの間、西村健二会長代行（東京都自動車整備振興会会長）が統投することが承認された。

通常総会では冒頭、西村会長代行が挨拶。昨年の総会で急きょ、会長代行に就任したものの、残念ながらいまだに新会長が誕生していないと断ったうえで、都議会自民党および都関係部局との意見交換会「東京都自動車政策懇談会」を5月に開催したことを報告し、「今後とも、会員である自動車・運輸・交通業界の皆さまが抱える課題の解決に向けて、こうした取り組みを続けていく方針だ」と語った。

続いて、この1年の間に会員団体の新しい代表に就任した人のうち、同日出席した大原一夫・東京自動車販売協会会長（東京トヨペット代表取締役社長）と浅井隆・東京都トラック協会会長（浅井代表取締役社長）が紹介された。

その後、前年度の事業実績や決算内容について事務局が説明。監事による監査報告を受けて、異議なく承認された。続いて事務局が説明した新年度の事業計画や予算内容についても異議なく承認された。

このうち新年度の主な事業内容としては、平成31年度の税制抜本改正に向けた自動車関係諸税の負担軽減・簡素化を目指して、国や都に働きかけていくことをはじめ、都の道路交通対策への協力や、自動車政策懇談会の開催、組織運営基盤の強化などが掲げられた。

また役員人事については、会長不在ということもあって、全員再任を原則に選定。西村会長代行の下、川鍋一郎・東京ハイヤー・タクシー協会会長、山口哲生・東京バス協会会長、大原・東自販会長、浅井・

東ト協会会長が引き続き副会長を務めることが決まった。

総会終了後、同ホテル内の別の会場で、自動車業界関係者を中心に約150人の来賓を迎えて「平成30年度通常総会懇親会」を開いた。

懇親会では最初に、西村会長代行が「東京都自動車会議所はいろいろな業界、業種の集まりで、業種業態は違うけれど、互いに手を取り合って、東京都、ひいては全国の自動車関連産業の健全な発展のために頑張りたい」と開会の挨拶をした。

続いて、この日に第2回都議会定例会を閉幕したばかりの自民党都議10人が登壇、山崎一輝都議（都議会自民党自動車産業政策研究会事務局長）が一人ひとり紹介した後、高島なおき・自民党東京都連幹事長と秋田一郎・都議会自民党幹事長がそれぞれ祝辞を述べた。

東京都環境局の笈直・環境改善部長ら会場に姿を見せた都幹部職員らが紹介された後、浅井副会長が乾杯の発声に立ち、「東京都自動車会議所の各種団体はいろいろな面で難しい問題を抱えているので、どうぞ自民党都議の先生方はバックアップをよろしくお願ひします」と述べ、会場全体で乾杯。和やかに歓談した。



討 報

豊田合成元社長

(当会議所会員元代表者)

堀籠 登喜雄氏

豊田合成で社長、会長を務められた堀籠登喜雄氏が6月10日、逝去された。82歳だった。